



暑中お見舞い申し上げます

下関深坂さくら友の会 会長 福富征里

の会」が設立され、会長を承つて1年3ヶ月が過ぎたときは不安で一杯でしたが、皆様のご協力いただきました。この一年余の間に7回の定例会、5回の特別作業などを行いましたが、いつも予想以上に多くの方が参加され大変力強く感じました。今年度も引き続き、さらに充実して楽しいさくら友の会になるよう皆様と共に努力していきたいと思います。

幸い昨年は大きな事故も無く過ごせました。今年も安全に気をつけて、桜と緑の夢を深坂に実現し、美しい市民の財産となるようみんなで前進を続けましょう。

合計	贊助	個人	団体	年度
2 2 4	3 0	1 8 2	1 2	18 年度
2 4 7	1 0 9	1 3 0	8	19 年度

会員の変動

10%
増判明

今年度は、団体会員と個
云員が大幅に減り、贊助

員が大きく増えました。

增加です。昨年度は発足にばかりで、会員の種別

よく分からなかつたと
われます。

さくら新聞などで、田常動が分かってきたので、

加できなの方が贊助会に移られたのだと思わ

賃を一口以上払われる

度
18年度
19年度

体 128

助 30

計	取
2	3
2	0
4	0

役員改選



桺四方山

平成の大合併で下関市の面積は3倍以上になった。その結果、豊田町のホタルなどなど豊かな自然が増えた。また数多くの桜の名所も増えたにちがいない。それらを探訪して廻つて見るのも面白かろう。

それはさておき、旧市の自然や桜は市民の庭のようなもので、日々の散歩やジョギングの場所としてまた特別な意味を持っている。

桜の名所としては、火の山、日和山、戦場ヶ原などがあり、その時期には大いに賑わう。しかし、深坂の森は、それらとは、ちょっと趣が違う。どこか奥庭という感じがする。自然の森につながつていて、全部を知らない神秘性とでも言おうか、それがまた魅力である。

深坂の森に近づいただけで空気が違う。ダムの湖面の緑、悠々と遊ぶ白鳥。静寂の中にウグイスやカツコウなどの鳴き交わす声が、日常の喧騒を洗い流してくれる。

さくら友の会が、全くのボランティアで下草刈や、天狗巣病対策に汗を流すのも、この自然に対する感謝の気持ちが底にあるからだろう。汗を流せば流すほど、深坂の森がいとおしくなる。